

2024年度第2四半期 決算補足資料

2024年11月12日



2024年度 第2四半期決算のポイント

(単位：百万円)

	2023年度	2024年度			対前年同期比
	上期			上期	
		1Q	2Q		
売上高	77,750	38,403	39,792	78,195	+445
営業利益	601	101	△354	△253	△854
経常利益	938	693	△1,229	△536	△1,474
当期純利益	900	488	△3,184	△2,696	△3,596

《全体感》

- 売上高： 円安影響等で売上高は増加するも、受注量は一部主要顧客の販売不振等により前年同期比減(△3%)。
- 営業利益： 受注量の減少に対し固定費等の圧縮や価格是正も一部進んだが、原材料価格の高騰による調達コストの増加や米国工場での生産性悪化等により営業損失を計上。
- 当期純利益： 為替相場の変動による為替差損、生産体制の合理化を目的とした特別退職金及び主にメキシコ工場の為替相場の変動による繰延税金資産の取り崩し等の費用を計上。

業績予想修正について

■ 上期実績との乖離について

(単位：百万円)

	2024年度上期	
	5/17期初計画	実績
売上高	77,000	78,195
営業利益	1,300	△ 253
経常利益	1,000	△ 536
当期純利益	100	△ 2,696

■ 通期の業績予想について

(単位：百万円)

	2024年度通期	
	5/17期初計画	10/29修正計画
売上高	159,000	160,200
営業利益	4,000	3,050
経常利益	3,500	2,860
当期純利益	2,000	100

営業利益：

日本を中心とした主要顧客の販売不振による受注量の減少、製品ミックスの影響及び米国工場の生産性悪化による収益の大幅な下振れ

経常利益・当期純利益：

- ・円高進行による為替差損の計上 → 外貨建て債権・債務の評価替え 約3億円
- ・中国拠点の生産体制合理化に伴う特別退職金の計上 約3億円
(国内拠点の希望退職に伴う特別退職金は期初計画に反映済：約7億円)
- ・法人税調整額の計上(繰延税金資産の取り崩し)：約7億円

※メキシコ工場の会計上の機能通貨(米ドル)と税務基準額計算上の現地通貨(メキシコペソ)の違いがあり、ドルに対しペソ安になると法人税等調整額がプラス(費用を計上)

営業利益：

下期以降、受注量の回復に加え、日本及び中国拠点での人員適正化効果や価格是正活動での確実な成果の刈り取りも見込まれ、下期の営業利益は大きく回復する見込み。米国工場についても、生産体制の正常化により下期での収支均衡を目指す

経常利益・当期純利益：

生産体制の合理化に伴う広州工場の一部(第2工場)の譲渡益：約7億円
※第4四半期に計上予定
上記に基づき、通期当期純利益の黒字化を見込む

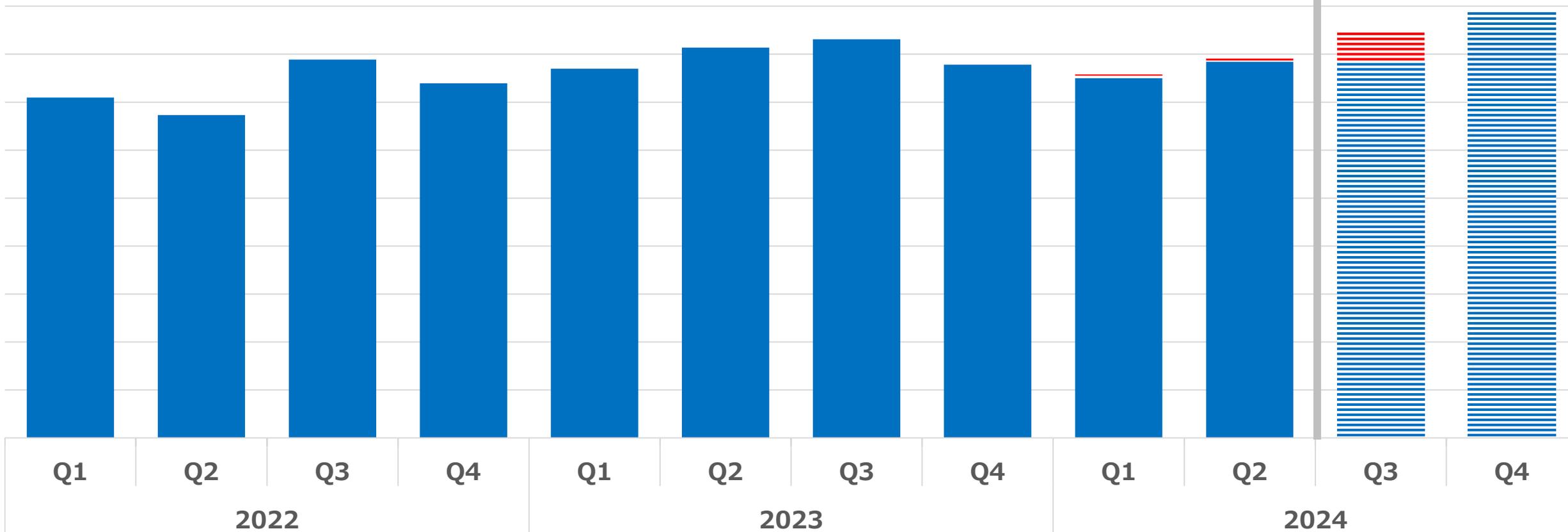
売上重量推移

地域差はあるものの、一部主要顧客の販売不振等の影響を受け、期初計画に対し上期は微減
下期以降は緩やかに回復していく見込みだが、期初計画からは減少の見込み

≡ 5/17計画からの減少分

実績

修正計画



ダイカスト事業

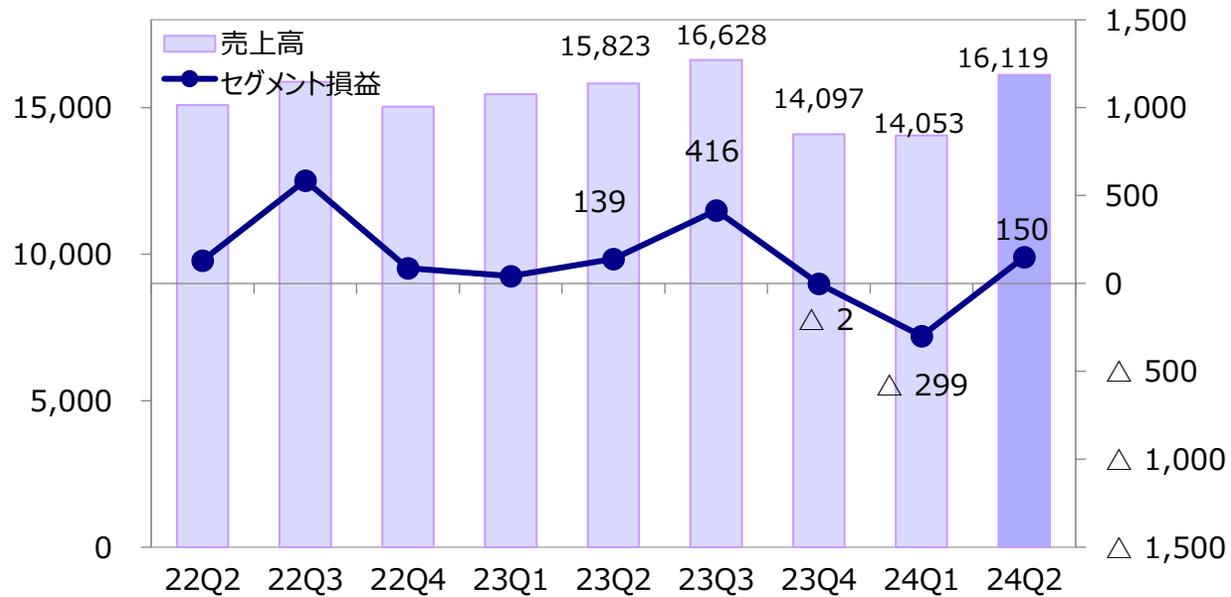
(単位：百万円)

		2023年度	2024年度		対前年 同期比	2024年度通期		
		上期				上期	5/17 期初計画	10/29 修正計画
			1Q	2Q				
日本	売上高	31,282	14,053	16,119	30,172	Δ 1,110	61,700	62,720
	セグメント 損益	181	Δ 299	150	Δ 149	Δ 330	700	1,410
北米	売上高	22,971	13,053	12,336	25,389	+2,418	50,300	50,080
	セグメント 損益	693	298	Δ 717	Δ 419	Δ 1,112	1,600	200
アジア	売上高	16,302	8,710	8,511	17,221	+919	35,100	35,630
	セグメント 損益	Δ 988	252	4	256	+1,244	1,100	1,020

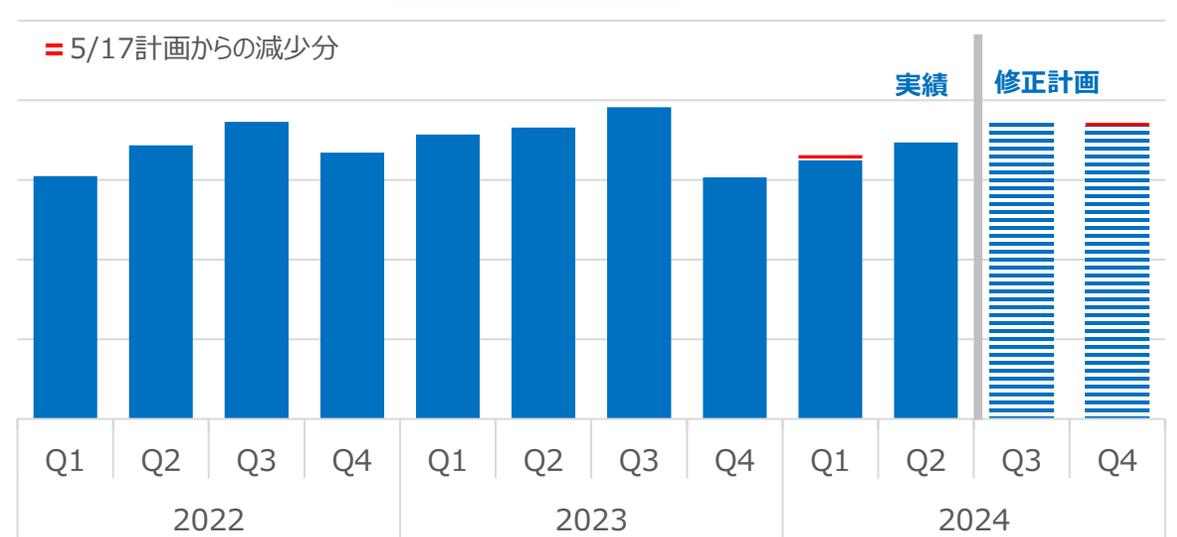
※ 北米セグメントのメキシコ工場及びアジアセグメントの中国2工場は12月決算となります。

ダイカスト日本

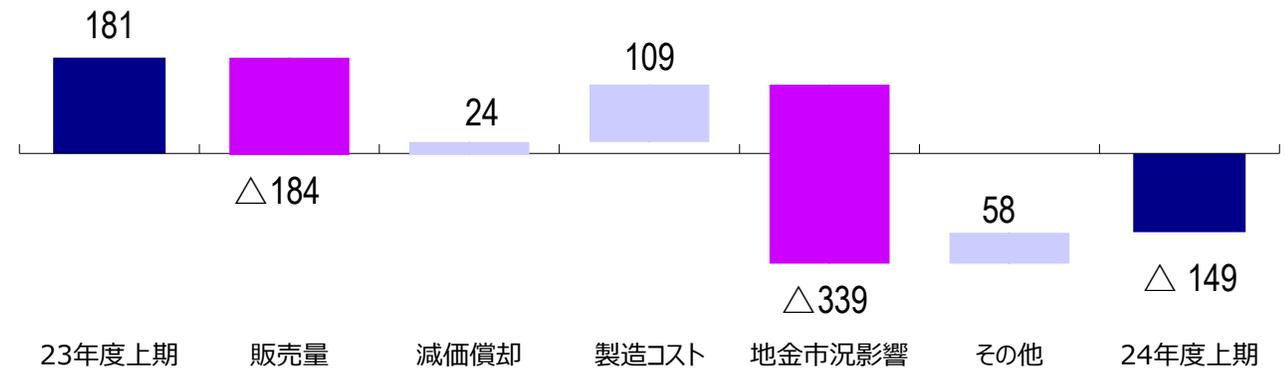
売上高／セグメント損益の推移 (単位:百万円)



売上重量の推移



セグメント損益増減要因 (単位:百万円)



《上期》

売上：301億円 前年同期比△11億円 (△3.5%)

損益：△1.4億円 前年同期比△3億円 (赤字)

《第2四半期》

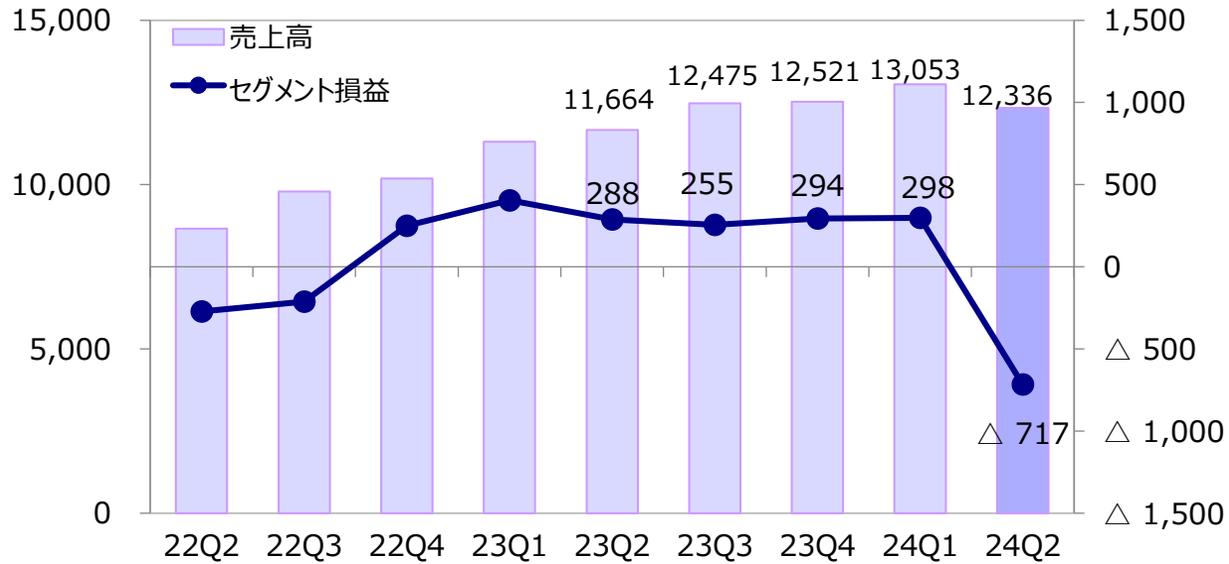
売上：161億円 前年同四半期比+2億円 (+1.9%)

損益：1.5億円 前年同四半期比+0.1億円 (+7.9%)

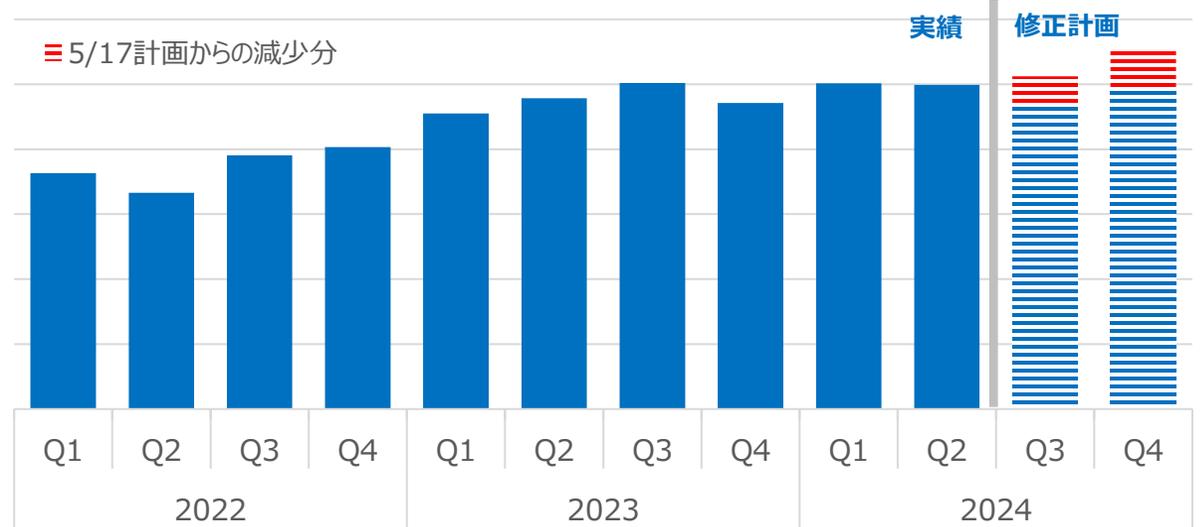
- ▶ 前年度第4四半期からの受注量低迷が続く中、製造コストの削減や価格是正を進めたことにより2Q単独は黒字確保したが、原材料価格高騰、製品ミックスの影響等もあり上期では赤字計上

ダイカスト北米

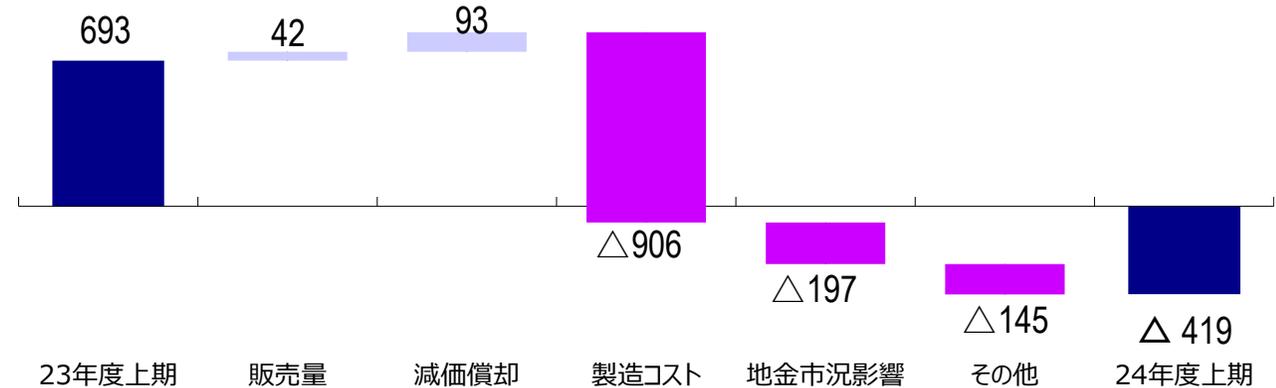
売上高／セグメント損益の推移 (単位:百万円)



売上重量の推移



セグメント損益増減要因 (単位:百万円)



《上期》

売上：253億円 前年同期比+24億円 (+10.5%)

損益：△4億円 前年同期比△11億円 (赤字)

《第2四半期》

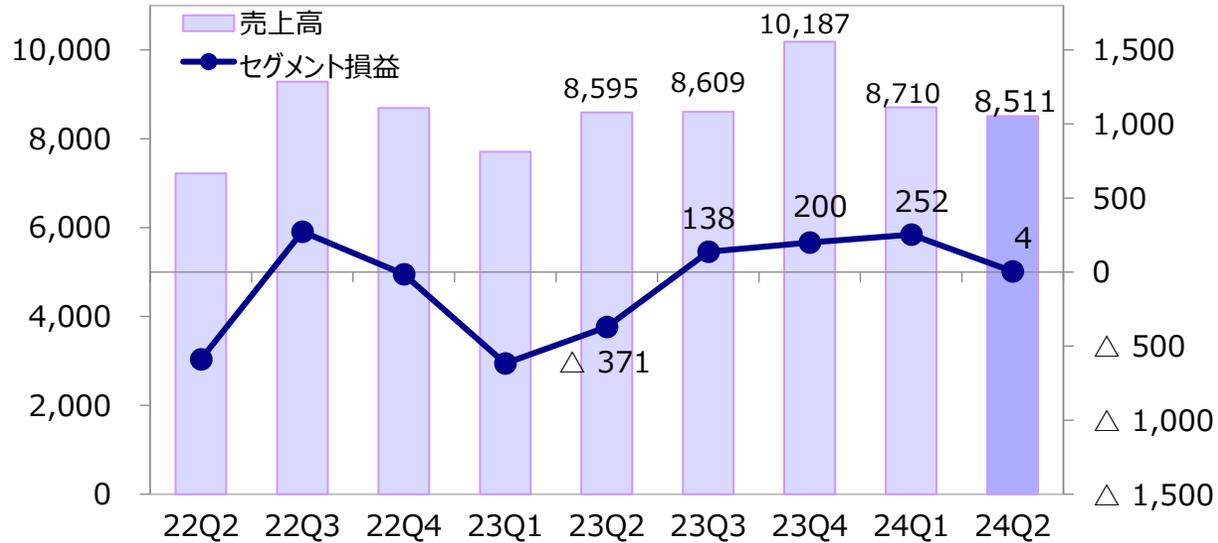
売上：123億円 前年同四半期比+6億円 (+5.8%)

損益：△7億円 前年同四半期比△10億円 (赤字)

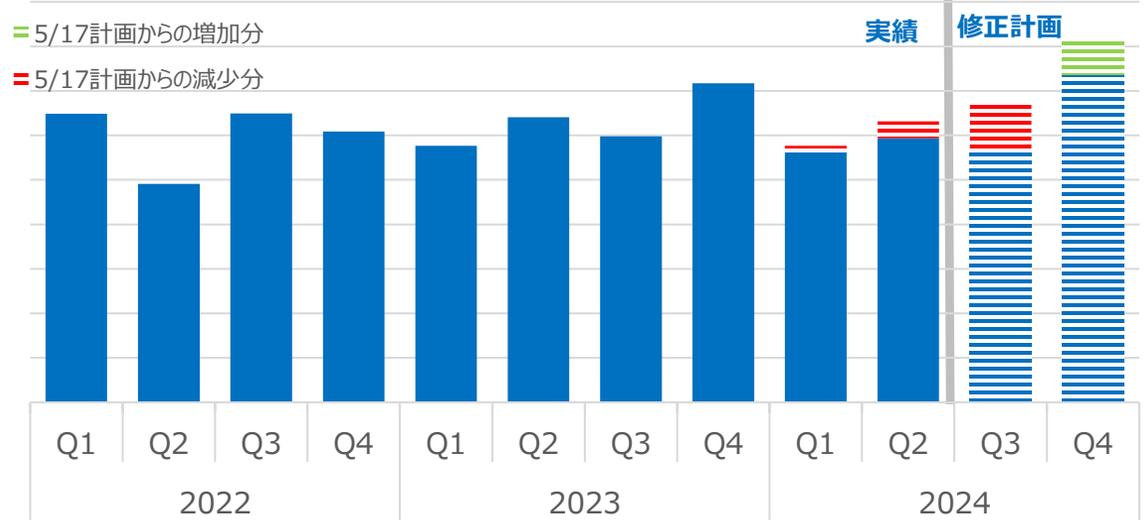
- 底堅い北米自動車生産による受注量増と円安影響等により売上高は増加するも、人件費の高騰及び米国工場の生産性悪化による製造コストの増加により赤字計上

ダイカストアジア

売上高／セグメント損益の推移 (単位:百万円)



売上重量の推移



《上期》

売上： 172億円 前年同期比+ 9億円 (+5.6%)

損益： 2億円 前年同期比+12億円 (黒字化)

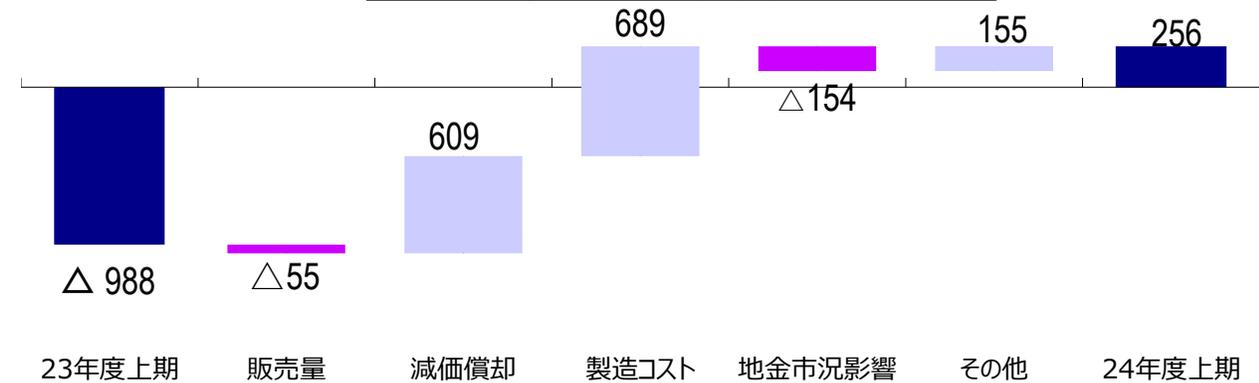
《第2四半期》

売上： 85億円 前年同四半期比△0.8億円 (△1.0%)

損益： 4百万円 前年同四半期比+3億円 (黒字化)

- 中国での主要顧客の販売不振が続くものの、インド工場の増産及び円安影響により売上高は増加。中国での生産体制の合理化による固定費の削減や、前年度の減損計上による減価償却費圧縮等もあり黒字化

セグメント損益増減要因 (単位:百万円)



アルミニウム事業および完成品事業

(単位：百万円)

		2023年度	2024年度		対前年同期比	2024年度通期		
		上期				上期	5/17	10/29
			1Q	2Q			期初計画	修正計画
アルミニウム事業	売上高	3,509	1,699	1,767	3,466	△43	7,300	7,270
	セグメント損益	88	15	55	70	△18	100	160
完成品事業	売上高	3,684	887	1,058	1,945	△1,739	4,600	4,500
	セグメント損益	487	19	160	179	△308	500	450

<アルミニウム事業>

- 売上：アルミ地金の販売単価が上昇するも販売重量が減少したことにより減収。
- 損益：売上高の減少等により減益（期初年度計画比では増益を見込む）

<完成品事業>

- 売上：前年同期比では半導体関連企業の期中の大型物件の引き渡しが減少したことにより減収となるも期初計画並に推移。
- 損益：売上高の減少影響により前年同期比減益となるも、引き続き安定的な利益を確保。

株主還元

1株当たり配当金	2022年度実績	2023年度実績	2024年度 期初予想	2024年度 11/12予想
年間配当	10	15	28	28
中間	5	10	10	10
期末	5	5	18	18
1株当たり純利益	△3.26	△300.55	81.27	4.01

※中間配当は確定済

配当：期初予想から変更なし（28円/年）

・上期は原材料価格の高騰、特別退職金の計上等の一時的要因の影響もあったが、下期は受注量の回復、人員適正化等による製造コストの低減が寄与することで、通期での黒字確保を見込むことも踏まえ配当を据え置き。

・財務体質の健全性を維持しつつ、株主還元の強化を引き続き実施



Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-6369-8664

E-mail: ahresty_MP0_IR@ahresty.com

URL: <https://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。